

要 望 事 項

会派名 改 新

事 業 名	内 容 説 明
1. 将来的な市の健全な財政運営について	新施設の建設費、運営管理費、将来的に必要となる修繕費などのライフサイクルコストの明確化及び、それを踏まえたうえで財政計画や起債計画について健全財政を維持できる明確な説明を求める。
2. 地域公共交通活性化対策について	高齢者はもちろん児童生徒や学生など市民が安全かつ自由に市内を移動するための公共交通機関の整備について、市内バス・タクシー事業者への委託拡充を軸に広域運営も視野に入れ、採算性よりも市民サービスの充実のための政策立案、実践を求める。 また、現行の高齢者等タクシー及びバス利用料金助成事業における助成金の大幅な増額か、小山町以上の手厚い公共交通網の構築を求める。
3. 市営住宅の環境整備について	多くの市営住宅の立地は学校や公共施設、商業施設に隣接し恵まれている。この財産をリノベーションして2戸を1戸の2DK程度にすることで子育て世代を招くことにより「真の子育て日本一」を目指す本市の柱とする。または、高齢者及び障がい者専用の施設としてリニューアルすること。UD化のリノベーションを施し、高度なバリアフリーの配慮をし、介護士や看護師の常駐する福祉施設としての活用に向ける。
4. 第一次産業の活性化について	今後本格的に整備が進められる沿道利便施設にあって、集客の大きな要因である地場の農産物をいかに豊富に多品種・多品目にわたって揃えることが重要である。 施設オープンまでに多くの生産者や関係機関との調整が必要だがこれらを通じて地元農業の活性化を図ることを求める。